

# 原子力艦事故防災 市民ヒアリング



横須賀市地域防災計画の改訂に市民の声を

●福島原発事故を受けて政府は、原発については5キロ以内事前避難区域、30キロ以内を防災重点区域に拡大しました。しかし、原子力空母では04年に作られた防災マニュアルで1キロ以内避難、3キロ以内で屋内退避、それ以上は殆ど対策なしとされ、16年のマニュアル検証作業でも、その範囲はそのままとなつてしまいました。皆さんは、原子力空母事故対策は3キロ以内で十分という政府見解を信じられますか？

●横須賀市はこれを受け、17年3月末までに、「横須賀市地域防災計画」の改訂を予定しています。「住民投票を成功させる会」では、「計画」に市民の声を反映させるため、横須賀市危機管理課長、基地で働く従業員の組合・「全駐労横須賀支部」乙川寛喜元委員長を招いて、報告を受けるとともに、「市民ヒアリング」という形で参加者からの改訂意見を募ります。ぜひ、ご参加ください。

## 11/12<sup>土</sup>

午後1時開場、1時半開始

場所 ●産業交流プラザ第1研修室 京急汐入駅前  
横須賀芸術劇場ビル3階

資料代 ●500円

報告 ●横須賀市危機管理課長・小貫和昭さん

●全駐労横須賀支部元委員長・乙川寛喜さん

主催 ●原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

電話:046 (827) 2713